

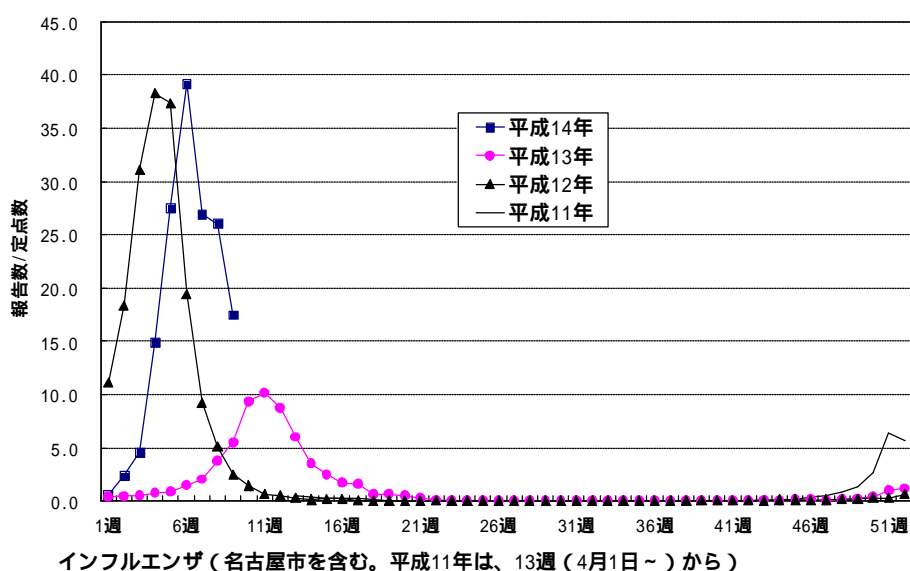
愛知県感染症情報

平成 14 年第 9 週（2 月第 4 週）

（コメント）

インフルエンザの報告数は減少を続けていますが、先生方からインフルエンザのコメントがまだ目立ちます。麻疹は依然として報告数が増加しています。特に、刈谷、稲沢、知多からの報告が多いです。麻疹の予防方法等については、愛知県衛生研究所のホームページ

（<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/>）をご覧ください。



（定点の先生方からのコメント）

- 尾張西部地区
 - ・ 感冒性腸炎多いです。
（一宮市 あさのこどもクリニック）
 - ・ 4 歳男 感染性胃腸炎でロタウイルス抗原陽性。水痘小流行。
インフルエンザ 17 名（A 型 10 名、B 型 4 名、A・B 型両方同時感染 3 名）
（一宮市 後藤小児科医院）
 - ・ O1（6 歳女、9 歳女、37 歳女）、O18 9 歳女、O25 7 歳男、O86 a 11 歳男、11 歳女）。マイコプラズマ肺炎が多く、病原性大腸菌感染症も依然として多く見受けられます。
（尾西市 城後小児科）

- ・ インフルエンザの再流行が犬山南部で見られます。ロタ様の胃腸かぜが流行しています。
(犬山市 武内医院)
- ・ 嘔吐を伴う感染性胃腸炎が流行中です。
(江南市 みやぐちこどもクリニック)
- ・ インフルエンザは下火となるも今週は、B型 85例、A型 13例、2回目の感染目立つ、AとBの両方。保育園児の流行は小学校の流行に比べ極めて少ないようです。
(岩倉市 医療法人なかよしこどもクリニック)
- ・ 8ヶ月男、12ヶ月女、1歳2ヵ月女2名、以上4名ロタウイルス(+)でした。
(春日町 丹羽医院)
- ・ 麻疹4名。伝染性単核症2名。インフルエンザひきつづき多い。
(新川町 三輪医院)
- 尾張東部地区
 - ・ 多くはありませんが、A型インフルエンザが目立ちます。相変わらずマイコプラズマ肺炎は多くみられます(6名)。
(瀬戸市 津田こどもクリニック)
 - ・ インフルエンザは週後半から少し落ち着いたようです(今週は圧倒的にB型が多かったです)。マイコプラズマ感染症も相変わらず多くみられます(B型インフルエンザとの混合感染も何例かありました)。その他溶連菌感染症、水痘等散発。ロタウイルス感染症が少し目立ってきたようです(脱水での入院例もあり)。
(尾張旭市 医療法人誠和会佐伯小児科医院)
 - ・ 4歳男 インフルエンザAとB 同時感染(予防接種2回すみ)
(美浜町 愛知県厚生農業協同組合連合会知多厚生病院)
 - ・ 今週もインフルエンザが流行しています。ロタウイルス(+)の感染性胃腸炎(2歳男)がみられました。
(春日井市 かちがわ北病院)
 - ・ インフルエンザやや減少しています。A型 14例、B型 1例、A、Bとも陽性1例でした。ロタ胃腸炎ひきつづき多数みられます。
(春日井市 朝宮こどもクリニック)
 - ・ インフルエンザまだ多し。例年に比して高熱3日以上の子は少ない。
(小牧市 小牧市民病院)

- ・ インフルエンザはなお流行中です。
(小牧市 志水こどもクリニック)
- ・ 相変わらずインフルエンザが多い様です。
(小牧市 医療法人心正会鈴木小児科)
- 西三河地区
 - ・ カンピロバクタ - 腸炎 10 歳女。病原性大腸菌 O1 9 ヶ月女、O6 1 歳男。マイコプラズマ感染症 4 歳男。アデノウイルス感染症 (チェック Ad 陽性) * 2 歳女 (2 例)
A 型インフルエンザ (インフル A・B クイック * A (+)、B (-) 3 歳女、5 歳女 (2 例)。B 型インフルエンザ (インフル A・B クイック A (-)、B (+) 2 歳女、3 歳女、8 歳男
麻疹は生後 3 ヶ月の男 (麻疹 IgG : 0.7 (-)、麻疹 IgM : 1.25 (+))
(豊田市 星ヶ丘たなかこどもクリニック)
アデノチェック* : 免疫クロマト法によるアデノウイルス抗原迅速キット。
インフルA・Bクイック* : A型及びB型インフルエンザウイルスを検出する迅速診断キットの一種。
 - ・ ロタウイルス 1 歳男
(岡崎市 医療法人深田小児科)
 - ・ インフルエンザは山を越えたようですが、A、B 共混在。
(岡崎市 花田こどもクリニック)
 - ・ B 型インフルエンザ 2 人
(岡崎市 にいのみ小児科)
 - ・ インフルエンザ 27 名中、A 14 名、B 13 名、40 歳以上は 1 名 (54 歳女性の A 型) だけでした。
(岡崎市 粟屋医院)
 - ・ インフルエンザ A 型インフル A・B クイック A (+) 9 名 (2 名親子、2 名夫婦)。インフルエンザ B 型インフル A・B クイック B (+) 7 名 (1 名ワクチン 2 回接種)。B 型は、抗ウイルス剤なしで、早期に解熱する例が多いようです。
(岡崎市 医療法人永坂内科医院)
 - ・ キャピリア FluA・B* にて診断 A が 2 名、B が 2 名。
(岡崎市 村山医院)
キャピリア FluA・B* : A・B 型インフルエンザウイルスを同時に検出する迅速診断キットの一種。
 - ・ インフルエンザは臨床診断のみです。
(刈谷市 田和小児科医院)

- ・ インフルエンザは減少散発程度です。
(碧南市 永井小児クリニック)
- ・ インフルエンザ A が多いです。ロタウイルス胃腸炎がめだちます。
(知立市 宮谷こどもクリニック)
- ・ インフルエンザ A 1 名 B 1 名。白色便の患者が少し増えてきました。
(西尾市 やすい小児科)
- ・ インフルエンザは減少しましたが、感染性胃腸炎がまた目立ちはじめました。
(西尾市 山岸クリニック)
- 東三河地区
 - ・ ロタウイルス (+) が増えてきました。
(豊橋市 富田小児科)
 - ・ インフルエンザ 2 回接種でインフルエンザ 2 回罹患。6 歳女兒 熱性ケイレンもあり。インフルエンザのピークは過ぎました。
(豊橋市 医療法人こどもの国大谷小児科)
 - ・ 「キャピリア FluA・B 各 20 テスト」製造番号 Flu210521 において各 16 検体を使用したが、どの検体にも A、B の陽性反応がでなかったため、同一患者から、同一方法で採取した検体を他の製造番号のキットでチェックしたところ陽性が得られた。交互にテストしたところ同製造番号のキット中の検体抽出液 (製造番号: IC003) に問題があるとした。(4 本中 2 本でテスト)
(豊川市 医療法人鈴木小児科医院)
 - ・ インフルエンザ様疾患は、一時減少傾向にあったが田原周辺部で増加。1 歳未満の例は、兄弟からの感染です。
(田原町 かわせ小児科)

(1~3 類感染症の発生状況)

報告はありません。

(全数把握の 4 類感染症の発生状況)

デング出血熱患者 1 名。

AIDS 患者 1 名。

急性ウイルス性肝炎 B 型患者 1 名。

劇症型溶血性レンサ球菌感染症患者 1 名。

第7週（14年2月11日～2月17日）の4類感染症の全国状況

インフルエンザは東海地方、愛媛県、北関東地方で定点当たり報告数が多くなっている。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は、富山県で定点当たり報告数4.6と多くなっている。感染性胃腸炎は宮崎県（定点当たり報告数18.8）、山形県（16.6）、宮城県（16.2）、福岡県（16.0）などで報告が多くなっている。流行性耳下腺炎は例年の同時期より定点当たり報告数がやや多くなっており、とくに沖縄県（定点当たり6.7）、山形県（4.7）、富山県（4.3）などで報告が多くなっている。

（Infectious Diseases Weekly Reportより抜粋

厚生労働省感染症研究所感染症情報センター感染症情報室提供）

